



## コミュニティを通じて 変化した街への愛着



### 岡本 克彦（オカポン）さん（こすぎの大学）

本業では大手電機メーカーに勤務。自宅と会社を行き来する毎日に「これでいいんだっけ？」と疑問を抱き、地域に関心を向ける。「公ではブランド戦略を、私では地域デザインを。」と武蔵小杉を中心にまちづくりに取り組む。公私を融合させた「働き方」や「楽しみ方」を模索中。2013年からソーシャル系大学「こすぎの大学」、シビックプライドあふれるまちづくりを目指した「川崎モラル」を企画運営。街で見かけたら「おーい、オカポン」と気軽に声を掛けて欲しいとのこと。



#### まちづくりカフェたかつ Vol.5

- 日 時：2020.11.8(日)10:00～12:00
- 場 所：Zoomによるオンライン（スタジオカリヨン）
- 参加者：17名

まちづくりカフェたかつ Vol.5 概要

■日時：2020.11.8(日)10:00～12:00

■場所：Zoomによるオンライン（スタジオカリヨン）



コミュニティを通じて  
変化した街への愛着



岡本 克彦（オカポン）さん  
（こすぎの大学）

### ◆ゲストトーク

自宅と会社の往復で、地域に知り合いがいなことに虚無感を感じていたオカポンさん。やりたいことを口に出したことで応援してくれる人が現れ、5人のチーム（現在は6人）で「こすぎの大学」が始まりました。オカポンさんがこすぎの大学に携わっているのは1か月のうちのたった1日だけ。それでも「オーイ、オカポン！」とまちで声をかけてもらえるようになり、自分の住むまちを丁寧に過ごしたいと思うようになったそうです。6人でやれば負荷は1/6、喜びは6倍。無理をせず、何よりも「自分が楽しむ」。ワークとライフを分けずにちょこっとずつ混ぜていく「公私混合」な楽しみ方を教えていただきました。



### ◆クロストーク（聞き手：(株)イータウン斉藤）



地域で活動している“オカポン”と“斉藤”の二人には共通点がありました。地元には知り合いがいな虚無感から行動を始めたこと。そこが子供には故郷になること。人とのかかわりがあること。自分が楽しむことが地域のため、会社のためになること。一方で、斉藤はそれを生業にし、オカポンは公私混合な生活。地域とのかかわり方も人それぞれ、いろいろな方法があるようです。

### ◆想いの共有タイム

人が集う場が欲しい！社内でラジオ体操を広める活動実践中だけど人が集まらない…。子どもがいなくても地域の人とつながるきっかけがほしい…。など、参加者が自分の想いを話しながら、オカポンさんの経験を通して新たな気づきを共有しました。こすぎの大学では参加者と一緒に作った地域コミュニティに関するノウハウ集を公開しており、ここにたくさんのヒントがありました。（「こすぎの大学 ノウハウ集」で検索してみてください。）

### ●交流会（任意参加）



終了後に7人の方で、さらに深く想いを共有しました。オカポンさんも実は人見知り。「活動を立ち上げる人はビジョンメーカーだけではない」と勇気をもらいました。そんなオカポンさんからの勧めは、コミュニティに参加して一緒に活動してみることに。川崎市にはたくさんのコミュニティがあります。一步を踏み出してみると、人生に変化が起こるかもしれません。

